

<だいざい>

音を合わせて楽しもう

(教科書 P.50~53)

歌声や楽器の音が重なり合うおもしろさを感じとって、えんそうしたりきいたりしよう。

【教材】 「エーデルワイス」 リチャード ロジャース 作曲/佐井 孝彰 編曲
(教科書 52、53 ページ)

■ 重なり合う楽器の音のひびきに気をつけながら合奏するために、まず次の①から⑤の活動をやってみよう。

- ① 教科書の楽ふを見ながら「リコーダー1」を階名で歌ってみましょう。
※「階名」とは？教科書9ページでふりかえてみましょう。
- ② 教科書の楽ふを見ながら「リコーダー1」をリコーダーでえんそうしてみよう。
※リコーダーのえんそうのしかたについては、教科書16、17、18ページをかくにんしてみよう。
 - ・「かまえ方」はいいかな？
 - ・「あなのとじ方」はいいかな？指のはらですきまができないようにとじているかな。
 - ・「音の出し方」はいいかな？タンギングしてふいてるかな。
 - ・「息の強さ」はいいかな？強すぎたり、弱すぎたりすると、きれいな音にならないね。
 ※リコーダーの運指は、教科書70、71の「リコーダーの運指表」でかくにんできるよ。
- ③ 教科書の楽ふを見ながら「リコーダー2」を階名で歌ってみましょう。
- ④ 教科書の楽ふを見ながら「リコーダー1」をリコーダーでえんそうしてみよう。
- ⑤ 教科書の「㊦(鉄きん)」や「けんばんハーモニカ」のところも階名でうたったり、けんばんハーモニカでえんそうしたりしてみよう。

